

法蔵館書店ニュース 7月

目次

話題の本	P1	特集1:ジェンダーを知る	P12~13
法蔵館新刊案内	P2~4	特集2:祇園祭に関する本特集	P14
法蔵館重版案内	P4	お知らせ	P15
法蔵館刊行予定案内	P5	法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P16
法蔵館書店新着案内	P5~11		

★お知らせ★ 7、8月の書店休業日

7月のお休み: 2日・9日・16日・23日・30日

8月のお休み: 6日・11日~16日(お盆休み)・20日・27日

話題の本

●秋田魁新報(2023/6/10)●愛媛新聞(2023/6/11)

『信仰か、マインド・コントロールか

一カルト論の構図』 法蔵館文庫

櫻井義秀著・文庫判・384頁・1,210円

ISBN: 978-4-8318-2647-3

●図書新聞(2023/6/10)●読売新聞(2023/5/17)

『近代日本の国家と浄土真宗

一戦争・ナショナリズム・ジェンダー』

福島栄寿著・A5判・294頁・4,180円

ISBN: 978-4-8318-5569-5

●中外日報(2023/6/9)

『ブラフマニズムとヒンドウイズム1・2』

1 古代・中世インドの社会と思想 2 古代・中世インドの宗教と実践

藤井正人・手嶋英貴編・A5判・各5,500円

1 434頁・ISBN: 978-4-8318-7761-1

2 476頁・ISBN: 978-4-8318-7762-8

●読売新聞[夕刊](2023/6/8)

『神々の精神史』 法蔵館文庫

小松和彦著・伊藤慎吾解説・文庫判・432頁・1,540円

ISBN: 978-4-8318-2645-9

●中外日報(2023/6/2)

『親鸞・初期真宗門流の研究』

同朋大学仏教文化研究所編・A5判・520頁・8,800円

ISBN: 978-4-8318-7930-1

●伊勢新聞(2023/5/25)

『増補改訂 近代仏教スタディーズ

一仏教からみたもうひとつの近代』

大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編

A5判・352頁・2,200円・ISBN: 978-4-8318-5580-0

●読売新聞[夕刊](2023/5/25)

『生きものたちと仏教のはなし』

華園真慶著・四六判・112頁・1,430円

ISBN: 978-4-8318-2460-8

●近代仏教 第30号(2023/5/25)

『神智学と仏教』

吉永進一著・碧海寿広解題・四六判・378頁・4,400円

ISBN: 978-4-8318-5564-0

●中外日報(2023/5/19)●仏教タイムス(2023/5/18)

●日本経済新聞(2023/5/13)

『創価学会一政治宗教の成功と隘路』

櫻井義秀・猪瀬優理編・四六判・336頁・2,530円

ISBN: 978-4-8318-7765-9

●文化時報(2023/5/19)

『近代日本の仏教と福祉

一公共性と社会倫理の視点から』

井川裕寛著・A5判・380頁・5,500円

ISBN: 978-4-8318-5578-7

●中外日報(2023/5/15)

●中日・東京新聞(2023/5/13、14)

『仏法と怪異—日本靈異記の世界』

武田比呂男著・A5判・264頁・3,850円

ISBN: 978-4-8318-6277-8

●宗教民俗研究 第33号(2023/3/31)

『六十六部日本廻国の研究』

小嶋博巳著・A5判・537頁・13,200円

ISBN: 978-4-8318-6272-3

法蔵館文庫

◆寺檀の思想

【仏教史／近世】

大桑 斉著・松金直美解説・文庫判・282頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2649-7

近世に生まれた「寺檀」の関係を近代以降にまで存続せしめたものは何だったのか。家を基本構造とする幕藩制下の仏教思想を解明する。

■目次

はじめに——概観をかねて

序章 加賀の任誓

第一章 寺檀関係の形成

第二章 寺請体制

第三章 寺請体制の思想原理 ほか

ためし読み



◆藤原道長

【日本史】

山中 裕著・大津 透解説・文庫判・282頁・1,320円
ISBN:978-4-8318-2650-3

栄華を極めた道長を史料から叙述、人間関係から人物像を浮かびあがらせ、既存の図式的な権力者のイメージを排して史実の姿に迫る。

■目次

序章

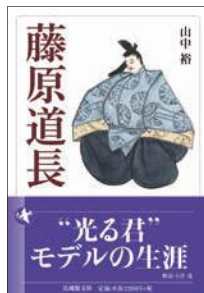
1 藤原氏の発展

2 道隆の時代

3 一条天皇即位と道長の周辺

4 道長と敦康親王 ほか

ためし読み



◆安倍晴明の一千年——「晴明現象」を読む

【文学／日本史】

田中貴子著・文庫判・250頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2651-0

スーパー陰陽師・安倍晴明はいかにして誕生したのか。千年にわたる変貌の軌跡を追ひ、晴明に託された人々の思いを探る好著。

■目次

少し長いプロローグ——「せーめーさん」詣で

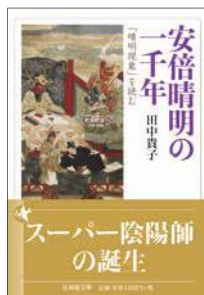
第一章 それは『帝都物語』から始まった

第二章 院政期における「晴明現象」

第三章 近世初期の晴明——狐の母の物語

第四章 平安京は「四神相応の地」か ほか

ためし読み



◆お地藏さんと日本人

【仏教／民俗】

清水邦彦著・四六判・214頁・1,980円・ISBN: 978-4-8318-6273-0

あちこちに祀られているお地藏さん。なぜ、そこにいるのか？
いったい何ものなのか？ 歴史や宗教、文学、民俗等からわかりやすく解説。

■目次

- | | |
|-----|-----------------------|
| 第一章 | 中国の地藏信仰 |
| 第二章 | 日本への伝播と普及 |
| 第三章 | 中世の地藏信仰——中世仏教との関連を中心に |
| 第四章 | 江戸時代の地藏信仰 |
| 第五章 | 明治時代から現代の地藏信仰 ほか |

ためし読み



◆新装版 現代語訳 親鸞全集 4

【仏教／真宗】

——和讃・書簡

真繼伸彦訳・四六判・344頁・2,420円・ISBN: 978-4-8318-6597-7

親鸞聖人の全著作を網羅し、現代人が平易に読める現代語訳の決定版全5巻。第3弾は、親鸞思想と人間像を伝える「和讃・書簡」。

■目次

- | | |
|----------|---------------|
| 親鸞の書簡と和讃 | 書簡 |
| 和讃 | 末灯鈔 |
| 三帖和讃 | 親鸞聖人御消息集 |
| 浄土和讃 | 御消息集 |
| 高僧和讃 | 親鸞聖人血脈文集 |
| 正像末和讃 | 御消息拾遺 |
| 皇太子聖徳奉讃 | 恵信尼消息 ほか |

ためし読み



◆近代日本の思想変動と浄土真宗

【思想史／近代】

——教化・連帯・転向

佐々木政文著・A5判・418頁・7,150円・ISBN: 978-4-8318-5579-4

部落問題と「思想問題」に関わる真宗教団の社会事業を分析し、「社会の発見」という思想変動前後における浄土真宗の社会的機能を考察。

■目次

- | | |
|-----|----------------------------|
| 序 章 | 社会思想史研究の対象としての浄土真宗 |
| 第Ⅰ部 | 一九一〇年代の部落改善／融和政策と浄土真宗 |
| 第Ⅱ部 | 一九二〇年代における社会事業の成立と
浄土真宗 |
| 第Ⅲ部 | 一九三〇年代の治安維持法運用と浄土真宗 |
| 終 章 | 浄土真宗思想と近代日本社会 ほか |

ためし読み



◆パリー文『テリー・ガーター』翻訳語彙典

植木雅俊著・A5判・538頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-7772-7

【仏教／ジェンダー】

差別社会で釈尊と出会い、“解脱”した女性たちの体験談。
パリー語原文の構造や各単語の意味を知りつつ、その魅力
に迫れる一冊。

■目次

はしがき

凡 例

\$1: 一人ひとりの尼僧たち〔に対する一つの偈からなる
詩の集篇〕

\$2: 二つの〔偈からなる詩の〕集篇

\$3: 三つの〔偈からなる詩の〕集篇 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆改訂新版 歎異抄講義 上

2刷

三明智彰著・四六判・300頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-8753-5

現代に即した豊富な事例を交えながら、『歎異抄』の奥深い
教えを詳しく読み解く。上巻は、第十条までの師訓篇を収載。

■目次

改訂新版にあたって

序 文——廣瀬 果

刊行にあたって

前 序……『歎異抄』の書名／『歎異抄』の作者唯円と親鸞聖人／ほか

第一条……無量寿・無量光／法蔵菩薩と世自在王仏の出遇い／ほか

第二条……十余か国のさかいをこえて／往生極楽の道とといきかんがため／ほか

第三条……善人なおもて往生をとぐ／善人とは何か、悪人とは何か／ほか

【仏教／真宗】



◆改訂新版 歎異抄講義 下

2刷

三明智彰著・四六判・430頁・2,970円・ISBN:978-4-8318-8754-2

重版続きの人気書が、ルビを増やし、読みやすくなりました。
下巻は、第十一条以後の歎異篇を収載。

■目次

第十一条……異なることを歎く／一文不通の人びとへのまどわし
——誓願・名号の異義／ほか

第十二条……経釈をよみ学せざるともがら往生不定の異義／本
願を信じ、念仏をもうさば仏になる／ほか

第十三条……本願ばかりとて、往生かなうべからず／善悪の宿業
をこころえざるなり／ほか

【仏教／真宗】



法藏館刊行予定案内

〈2023年8月 刊行予定〉

◆新装版 現代語訳 親鸞全集 5——言行・伝記

真継伸彦訳・四六判・264頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-6598-4

【仏教／真宗】

親鸞聖人の全著作を網羅し、現代人が平易に読める現代語訳の決定版全5巻。最終巻は、歎異抄・口伝鈔・改邪鈔ほか「言行・伝記」。

◆唯識説の深層心理とことば——『摂大乘論』に基づいて

小谷信千代著・四六判・320頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-7096-4

【仏教学】

あらゆる物事は心の現れと説く唯識。世界が現象する経緯を、哲学的整合性をもって理論的に説明し得る「ことばの哲学」として展開。

◆住職必携——真宗大谷派儀式作法

大谷制以知著・A5判・予220頁・2,860円・ISBN:978-4-8318-8785-6

【仏教／真宗】

声明の作法、本堂内陣の荘厳、各種法要の式次第など、お勤めの基礎から住職実務までを図や写真入りで詳しく説明。住職やこれから住職になる方、そして僧侶も必携の書！

法藏館書店新着案内

◆宗祖親鸞聖人著作集 一

——顕浄土真実教行証文類〈坂東本〉

聖教編纂室編・A5判・532頁・4,950円〈東本願寺出版〉

聖教編纂室で慶讃記念事業として作成された、宗祖の著作集。宗祖の著作の原文をとおして、あらためて真宗の教えを学んでいく機縁となることを願い、宗祖撰述・書写の聖教の翻刻文と合わせ『真宗聖典第二版』収録の本文を併載。

※『真宗聖典（第二版）』は2024年春刊行予定。



◆親鸞伝と本願寺俯瞰

——東西本願寺のちがいがい

鎌田宗雲著・A5判・253頁・2,750円〈永田文昌堂〉

第一章では、親鸞の実像や恵信尼について、第二章では、東西本願寺の歴史と仏具や作法の違い六十一項目について、第三章では、本願寺の不思議や門徒の意味、御文章や領解文の基礎を解説。



◆正信偈講座

梯 實圓著・A5判・382頁・1,980円〈本願寺出版社〉

浄土真宗の碩学・梯實圓和上による講義を文字起こしし、「季刊せいてん」において約七年にわたり連載された「せいてん誌上演〈正信偈〉」。数多くのご要望をいただき、ついに一冊の本となりました。親鸞聖人のみ教えの根幹となる「正信偈」を、はじめて浄土真宗に触れる方にもやさしく、わかりやすく講じます。梯和上の聲咳に接しているような臨場感にぜひふれてください。



◆阿弥陀仏の願いと信心 ——大宇宙世界の時間と空間を超えて

掬月即勝著・A5判・258頁・2,640円〈永田文昌堂〉

浄土真宗で最も大切な「阿弥陀仏の願い」と「他力の信心」を中心に筆者自身の信心とお念仏の体験を踏まえて述べた実践的な解説書。ほとんどの仏教用語に振り仮名を付け、初心者の方でも読みやすい1冊。



◆正信偈にきく 南無阿弥陀仏のころ(上)

廣瀬 惺著・A5判・130頁・550円〈難波別院〉

2018年4月から4年にわたり、「正信偈に学ぶ」と題して『南御堂』紙で連載されたコラムが、加筆修正を加えて刊行されました。上巻には依経分を収録。



◆和讃の響き——親鸞の声を聞く

吉元信暁著・B6判・219頁・1,210円〈東本願寺出版〉

晩年の親鸞聖人が、真宗の教えを人々と共に声をそろえて讃嘆しようという願いによってつくられた「和讃(わさん)」。その中から25首を紹介し、内容を解き明かすと同時に、和讃全体を貫く親鸞聖人の願いを明らかにする1冊。
※本書は『同朋』での連載に書きおろしを加え、加筆修正を加えたものです。



宝島社新書683

◆新解釈 親鸞と歎異抄

島田裕巳著・新書判・254頁・1,080円〈宝島社〉

親鸞はいなかった——もちろん、この説は今日では否定されているが、そういう説があったほど、いまだ謎の多い人物です。また、親鸞の弟子が記した鎌倉時代の仏教書『歎異抄』についても、近年、偽書ではないかという指摘が出てきている。「なぜ『教行信証』に打ち込んだのか」「なぜ聖徳太子を深く信仰したのか」などを含め、本書では親鸞や『歎異抄』にまつわる5つの謎を、新解釈とともに解き明かしていく。



CDで学ぶ浄土真宗③

◆CD 海と群萌

廣瀬 果口述・CD〈総収録時間〉72:10・500円〈真宗大谷派名古屋別院〉

「CDで学ぶ浄土真宗」シリーズ第3弾。

「群萌」といわれる私たちの生きざま、それを包み込む本願。

「海」の広さと厳しさを、廣瀬先生が語ってくださいます。



◆江田智昭が語る お寺の掲示板入門

江田智昭著・A5判・63頁・1,100円〈本願寺出版社〉

近年、インターネットなどで話題となっている「お寺の掲示板」。月刊誌『大乘』の連載に加筆修正したものをもとに書籍化。自らのあり方を問うような含蓄のある言葉から全国のお寺の掲示板の文言を紹介&解説。小説や漫画、有名人などの身近に感じられる言葉も掲載。正解のない中で、言葉をどのように選び、SNSなどと連動させてどのように拡散させていくのか……など、掲示伝道を実践する上でのヒントが詰まった一冊となっています。



◆『永平広録』——「上堂語・小参」全訳注(下)

木村清孝著・A5判・376頁・4,180円〈佼成出版社〉

道元(1200-1253)の思想的全体像を知るためには、その主著『正法眼蔵』とともに説法や法話を集めた語録『永平広録』の読解が不可欠である。本書(上下2巻)は『永平広録』の原漢文(白文。底本は門鶴本=祖山本)・現代語訳文・訳注からなり、下巻は巻第5から巻第8(小参)までを収載する。巻末に道元年譜・人名索引・道元関連禅宗法系図を付す。



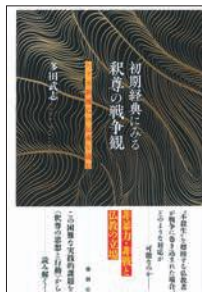
◆初期經典にみる釈尊の戦争観

——シャカ族滅亡の伝承を読む

多田武志著・四六判・261頁・3,300円〈論創社〉

非暴力・非戦と仏教の立場。

“不殺生”を標榜する仏教者が戦争に巻き込まれた場合、どのような対応が可能なのか——この困難な実践的課題を〈釈尊の思想と行動〉から読み解く！



インド哲学教室2

◆インドの唯名論・實在論哲学

——大乘仏教の起源とことば

宮元啓一著・四六判・187頁・2,200円〈花伝社〉

「世界はことばより成る」とする唯名論、そして「ことばよりも世界が先にある」とする實在論。

西洋哲学において長い伝統をもつこの互いに相いれない哲学思潮は、はるか昔、紀元前からインドで議論されていた。

インド哲学を丁寧に解きほぐし、仏教と「ことば」の関係に迫る。



思想としてのインド仏教

◆中道を生きる 中観

計良龍成著・四六判・265頁・2,420円〈春秋社〉

従来の空思想からではなく、実践にも関係する有無の両極端を離れた中道の視点から、序論—予備知識・第一部—思想史・第二部—縁起と中道の思想の三部構成で、インド中観思想を論じた画期的な解説書。

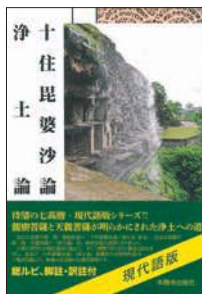


◆十住毘婆沙論 浄土論（現代語版）

浄土真宗本願寺派著・B6判・104頁・1,540円〈本願寺出版社〉

浄土真宗聖典現代語版シリーズ最新刊。

親鸞聖人の著述を中心に刊行してきた本シリーズから、初の七祖聖教現代語版が登場です。浄土真宗において親鸞聖人が大切にされた七人の高僧。龍樹菩薩の「十住毘婆沙論」、第二祖・天親菩薩の「浄土論」の丁寧な現代語訳。ルビ、脚註、訳註を付し、巻末に「十住毘婆沙論」「浄土論」親鸞聖人引用箇所訓点一覧、インド仏教史蹟略図を収録する。



◆ヴィパッサナー瞑想の教科書

——マインドフルネス気づきの瞑想

バンテ・ヘーネボラ・グナラタナ著・出村佳子訳・A5判・350頁
2,200円〈徳間書店〉

ヴィパッサナー瞑想の実践入門書として、米国で出版以来20年以上にわたり読みつがれ、世界24カ国で翻訳されているベスト&ロングセラー。仏教の知識がなくともわかる平易な言葉で、ヴィパッサナーを実践するために必要な情報を余すところなく伝えるものです。興味を持ったなら、手にしてほしい一冊。



ビハール医療団講義集IX

◆救われるとは——医療と宗教の協働

ビハール医療団編・四六判・164頁・1,760円〈自照社〉

ビハール僧の活動報告やビハール活動に携わる医師の信仰告白、また医療と仏教の協働をいち早く提唱した富士川游博士からの学びを通して、生死が直接の課題となる臨床の場での「救い」について考える。



◆悲嘆とケアの神話論

——須佐之男と大国主

鎌田東二著・四六判・271頁・2,420円〈春秋社〉

記紀神話などに見られる神々の物語と悲哀を、詩と学術を切り結ぶ構成において豊穡に伝える。須佐之男の流浪と大国主の「国譲り」。引き裂かれ呻吟する神々の歌を、現在の絶望の危機において受け継ぎ、ケア論の未来をも展望する、宗教学の碩学による渾身の書。



◆あなたの「生きたい」を支えます

玉置妙憂著・四六判・196頁・1,540円〈佼成出版社〉

現役の看護師であり、尼僧でもある著者は、医療の現場で、死にゆく人や心に悩みを抱える人に寄り添い、話を聴くという「スピリチュアルケア」の活動を続けています。答えの出ない深き悩みに寄り添うためには、「聴く側に、もっと深く揺るぎない何かがあれば」といいます。著者にとつての「何か」とは、仏教でした。本書では、それぞれの「生きづらさ」から抜け出すための方法を仏教的なアプローチから伝えます。



筑摩選書0255

◆日本人無宗教説 ——その歴史から見えるもの

藤原聖子著・四六判・266頁・1,870円〈筑摩書房〉

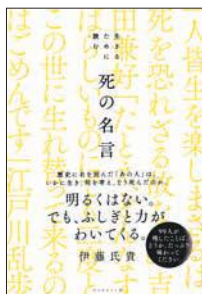
「日本人は無宗教だ」とする言説の明治以来の系譜をたどり、各時代の日本人のアイデンティティ意識の変遷を解明する。宗教意識を裏側から見る日本近現代宗教史。



◆生きるために読む 死の名言

伊藤氏貴著・四六判・239頁・1,650円〈ダイヤモンド社〉

歴史に名を刻んだ「あの人」は、いかに生き、何を考え、どう死んだのか。明るくはない。でも、ふしぎと力がわいてくる。99人が残したことば。どうか、たっぷり味わってください。



◆わが忘れえぬ人びと ——縄文の鬼、都の妖怪に会いに行く

山折哲雄著・四六判・185頁・1,540円〈中央公論新社〉

自己とは何者かを問いつづけ、そして「ホトケ」になった者たち——。宗教史研究の碩学が、敬愛する棟方志功、土門拳、河合隼雄、梅原猛に捧げる人物エッセイ。彼らの魅力を味わい深い筆致で綴る。



◆日本の妖怪百科

岩井宏實監修・A5判・239頁・2,475円〈河出書房新社〉

鬼、天狗、コナキ爺、河童、化け猫、ザシキワラシ……古来描かれてきた妖怪画の数々とともに、伝承や古典文学に現れたもののけの世界を探る。大判で好評の一冊を手に取りやすいサイズで。



◆季刊せいてん No.143

——2023夏の号

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・700円〈本願寺出版社〉

■目次

- 特集「み教えを依りどころとした生き方を②—法然聖人の法語から—」
- はじめの一步1 エピソードで読み解く信心の世界 4 三浦真証
- はじめの一步2 幸せってなんだろう
—悪人正機の倫理学—26 藤丸智雄
- 聖典セミナー 「恵信尼消息」(終) 山本攝叡 ほか



隔週刊古寺行こう

◆三井寺 石山寺 31

◆観心寺 金剛寺 葛井寺 32

各A4変判・42頁・770円〈小学館〉

三井寺 石山寺 31……智証大師円珍の教えを伝え密教道場・学問寺・庶民信仰の聖地として多面性を反映する三井寺、紫式部に縁のある巨大な岩盤の上に建つ石山寺、それぞれの魅力を余すことなくお伝えします。

観心寺 金剛寺 葛井寺 32……古くから真言密教の霊地として数多くの古刹が点在する南河内から屈指の国宝仏を擁する3つの名利、観心寺・金剛寺・葛井寺の歴史や寺宝を多角的に掘り下げるとともに、聖徳太子ゆかりの野中寺、秀麗な檀像の十一面観音を祀る尼寺・道明寺なども特集。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 7月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー 佐野史郎さん(俳優、映画監督)
- ◎特集 ケアがひらく未来ほか
- 新連載
- ・リレー法語 いつも、現在から…長野 文
- ・書いて学ぶ 親鸞のことば 歎異抄…鶴見 晃

◆大乘 7月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・釈徹宗の随縁探訪
- シンポジウム「親鸞聖人に学ぶ」
- ・ご機宜! お寺の掲示板……江田智昭
- ・マンガ お釈迦さま物語「涅槃」
- ……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる ほか

特集1

ジェンダーを知る

ここ数年、耳にする回数が多くなってきた「ジェンダー」という言葉。「なんとなくはわかるけれど、具体的にどういうこと？」そんな方におすすめしたい本を集めました。

日蓮の女性観

法蔵館文庫

植木雅俊著・文庫判・416頁・1,430円
ISBN: 978-4-8318-2648-0 (法蔵館)

仏教は女性蔑視の宗教なのか？ 仏教史における男性観、女性観の変遷、『法華経』における提婆達多と龍女の即身成仏を通して検証する。



女人禁制の人類学

——相撲・穢れ・ジェンダー——

鈴木正崇著・四六判・372頁・2,750円
ISBN: 978-4-8318-5650-0 (法蔵館)

「女人禁制」「女人結界」について、「伝統」と「差別」の二者択一を乗り越え、開かれた対話と議論を促すための考え方と資料を示す。



龍谷大学アジア仏教文化研究叢書8

現代日本の仏教と女性

——文化の越境とジェンダー——

那須英勝、本多 彩、碧海寿広編・四六判・256頁・2,420円
ISBN: 978-4-8318-6016-3 (法蔵館)

仏教界に根強く残る性差別の実態に、国内外の研究者と現場の僧侶らが鋭く迫る。ジェンダーの視点から日本仏教の未来を問う画期的書。



図解ポケット ジェンダーがよくわかる本

瀬地山角・中村 圭著・四六判・140頁・1,210円(秀和システム)

ビジネスパーソンに必須となるジェンダーについての基礎知識はもちろん、職場や家庭で起きがちな問題やハラスメントの防止策などをやさしく解説したハンディタイプの入門書。



職場で使える

ジェンダー・ハラスメント対策ブック

——アンコンシャス・バイアスに斬り込む戦略的研修プログラム

小林敦子著・A5判・192頁・2,200円(現代書館)

「性役割に関するハラスメント」、すなわちジェンダー・ハラスメントを防止する研修をおこなってきた著者が、組織におけるジェンダー・ハラスメントの実態を分析し、対策方法を説く。



【集英社新書】

差別は思いやりでは解決しない

——ジェンダーやLGBTQから考える

神谷悠一著・新書判・224頁・902円(集英社)

「あなたの人権意識、大丈夫? “優しい”人こそ知っておきたい、差別に加担してしまわないために——。価値観アップデートのための法制度入門!」



【集英社新書】

女性差別はどう作られてきたか

中村敏子著・新書判・192頁・858円(集英社)

なぜ、女性を不当に差別する社会は生まれてしまったのか。女性差別が生まれるまでの過程を、政治思想史の観点から分析。



【中公新書ラクレ】

ジェンダーレスの日本史

——古典で知る驚きの性

大塚ひかり著・新書判・256頁・990円(中央公論新社)

肉体の性別とは違う性認識を持つことが尊重されるようになってきた。先進的に見えるが、じつは日本の古典文学には、男女の境があいまいな話が多く存在する。



特集2 祇園祭に関する本特集

祇園囃子とともに、7月の京都は祇園祭一色に染まります。

そんな祇園祭が始まったのは……なんと千年以上も前！ 祇園祭について知ってみませんか？

◆室町時代の祇園祭

河内将芳著・四六判・248頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6263-1

京都祇園祭の歴史上、最も盛大であった室町期の祇園祭(祇園会)に注目し、公武権力が京都に併存した室町期ならではの特徴を解明。(法蔵館)



法蔵館文庫

◆改訂 祇園祭と戦国京都

河内将芳著・文庫判・280頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-2624-4

「権力に抵抗する民衆の祭」というイメージは実態に合うものなのか。イメージと史実を比較し、中世都市祭礼・祇園祭のリアルに迫る。(法蔵館)

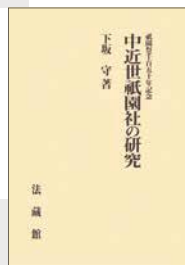


◆祇園祭千百五十年記念

中近世祇園社の研究

下坂 守著・A5判・782頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6266-2

文字史料の分析を軸に、絵図・絵画史料をも駆使して、祇園社(現・八坂神社)が中世・近世にどのような形で存続してきたのかを論じる。(法蔵館)



◆祇園祭の物語

小谷野裕子著・四六判・289頁・2,200円

20年以上にわたって祇園祭の取材を重ねてきた著者が、その魅力と歴史を語る。伝統文化を守り支える人たちの姿を活写！(春風社)



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ：念仏一筋の道を選ぶ―浄土宗立教開宗850年記念 法然上人の導き

第3回 リモート可

9月1日(金) 法然上人による浄土立教開宗の意義

大正大学教授 林田 康順氏

〈会場：しんらん交流館 大谷ホール(JR京都駅中央口、徒歩12分)・定員：150〉

第4回 リモート可

10月27日(金) 愚癡に還りて極楽へ

佛教大学学長 伊藤 真宏氏

〈会場：京都テルサ 東館2階セミナー室

(地下鉄烏丸線九条駅4番出口、西へ徒歩5分)・定員：168〉

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL：075-682-1625 FAX：075-682-1722

Eメール：shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

祝！ 受賞

坂本慎一先生(『ラジオの戦争責任』著者)……第19回 涙骨賞奨励賞 受賞

受賞論文『野崎廣義とその哲学』

坂本慎一先生著書『ラジオの戦争責任』 法蔵館文庫

文庫判・272頁・990円・ISBN：978-4-8318-2636-7

プラダン・ゴウランガ・チャラン先生……第28回 日本比較文学会賞 受賞

『世界文学としての方丈記』【日文研叢書第60集】

四六判・360頁・3,850円・ISBN：978-4-8318-7756-7

下坂 守先生……林屋辰三郎藝能史研究特別賞 受賞

弊社より刊行いたしました『中近世祇園社の研究』をはじめとする一連の業績によって受賞。

『祇園祭千百五十年記念 中近世祇園社の研究』

A5判・782頁・19,800円・ISBN：978-4-8318-6266-2

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(6月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真	真宗佛光寺派	250円
2	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗 III	平野 修述「平野修師講義集」編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
3	【別冊太陽】親鸞と浄土真宗のこころ 一親鸞聖人御誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年記念	赤松徹眞監修	平凡社	2,860円
4	お寺の行動経済学	中島隆信	東洋経済新報社	1,980円
5	正信偈講座	梯 實圓	本願寺出版社	1,300円
6	終活と宗活【伝道ブックス88】	雲井一久	東本願寺出版	330円
7	親鸞往生論争と教学の現況	草間法照	法藏館	2,860円
8	江田智昭が語る お寺の揭示板入門	江田智昭	本願寺出版社	1,100円
9	【基礎から学ぶ浄土真宗1】阿弥陀仏と浄土—親鸞が歩んだ道	内藤知康	法藏館	2,200円
10	令和元年安居「課外」講義録 『教行信証』の課題と願い	三木彰円講述	真宗興正派 宗務所	1,000円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会

検索





法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中〜!